

平成27年度

事業報告

社会福祉法人 緑会

1 法人の行う事業

(1) 第1種社会福祉事業

《施設の種類》 特別養護老人ホーム
《名称》 介護老人福祉施設 千寿苑
《施設長名》 森 光弘
《利用定員》 98名

(2) 第2種社会福祉事業

《施設の種類》 老人短期入所事業
《名称》 介護老人福祉施設 千寿苑
《施設長名》 森 光弘
《利用定員》 2名

《施設の種類》 老人デイサービス事業
《名称》 デイサービスセンター せんじゅ
《施設長名》 森 光弘
《利用定員》 30名

《施設の種類》 老人デイサービス事業
《名称》 デイサービスセンター なでしこ
《施設長名》 森 光弘
《利用定員》 30名

《施設の種類》 認知症対応型老人共同生活介護事業
《名称》 グループホーム やくしの里
《管理者名》 中道 信夫
《利用定員》 9名

《施設の種類》 小規模多機能型居宅介護事業
《名称》 小規模多機能型居宅介護施設 たかしなの里
《管理者名》 守山 みね子
《利用定員》 25名(登録定員：内通いサービス15人、泊りサービス9人)

(3) 職員数(平成28年3月31日現在)

☆総職員数 111人(男性19人、女性92人)

職員平均年齢 47.8歳 平均在職年数 5年7ヶ月

a.入所・短期入所

総数 57人

(正職員37人、臨時職員10人、パートタイム職員10人、委託 若干名)

《内 訳》

施設長	1人(常勤・兼務)	機能訓練指導員	1人(常勤1)
副施設長	1人(常勤)	管理栄養士	1人(常勤)
本部長	1人(常勤)	看護職員	5人(常勤5)
事務長	1人(常勤)	介護職員	39人(常勤33・パート7)
事務員	1人(常勤)	医師	1人(嘱託)
生活相談員	2人(常勤)	調理師	若干名(委託)
介護支援専門員	1人(常勤)	宿直員	3人(パート)

※資格保有者数：介護支援専門員4人、介護福祉士29人、ホームヘルパー2級・介護初任者研修12人(重複所有あり) 看護師5人、社会福祉主事任用6人

b.デイサービス

総数 30人(正職員18人、臨時職員4人、パートタイム職員8人、委託若干名)

《内 訳》

施設長	1人(兼務)	生活相談員	4人(常勤2、兼務2)
事務員	1人(常勤)	看護職員	8人(常勤3、パート5)
機能訓練指導員	2人(看護師兼務)	作業療法士	1名(パート1)
管理栄養士	1人(常勤)	調理員	若干名(委託)
介護職員	17人(常勤15人、パート2人)		

※資格保有者数：介護支援専門員6人、介護福祉士16人、ホームヘルパー2級・介護初任者研修2人(重複所有あり) 社会福祉主事任用4人、作業療法士1名、看護師2人、准看護師6人

c.グループホーム

総数 8人(正職員5人、臨時職員3人)

《内 訳》

管理者	1人(兼務)	看護職員	1人(常勤1)
介護職員	5人(常勤)		

※資格保有者数：介護支援専門員1人、介護福祉士3人、准看護師1人(重複所有あり) ホームヘルパー2級・介護職員初任者研修2人

d.小規模多機能型居宅介護

総数 16人(正職員0人、臨時・嘱託職員9人、パートタイム職員7人)

《内 訳》

管理者	1人(常勤兼務)	看護職員	4人(常勤1、パート3)
介護支援専門員	1人(常勤兼務)	介護職員	11人(常勤7、パート4)

※資格保有者数：介護支援専門員1人、看護師2人、准看護師2人(重複所有あり) ホームヘルパー2級・介護職員初任者研修7人

2 役員の状況

(1) 定款上の定数

理事 6名 監事 2名 評議員 14名

(2) 役員名簿

(役職名)	(氏名)
理事・評議員 (理事長)	圓山 寛人
理事・評議員	圓山 恵子、森 光弘、八野田 実
	坪内 明、生實 正
監 事	登美 嘉能、浜浦 久男
評 議 員	小林 耕輝、山田 利久、永井 志津子、春間 菊松
	清水 了、櫻井 定宗、堀岡 敏幸、堀 和彦

3 平成27年度法人運営の概要

社会福祉法人緑会は、えんやまグループ一員として、『「協働」－考え・動く－』を平成27年度統一テーマとし、職員各々がチームとして共に考え、共に動くことで、家庭・自宅において適切な介護を受けることが困難な要援助高齢者はもちろんのこと、そのご家族の心身及び精神的な負担の軽減にも寄与することを目的に、介護サービス提供の安定と継続的に提供できる体制をより良いものにしていくことに取り組んでまいりました。。これに加え、地域の方々へ法人が持てる能力をどのように還元してくかも重要な取り組みとして実施してまいりました。事業別の詳細な報告については後述のとおりです。

平成27年度の大きな変化としては、まず、平成27年4月に介護保険制度の改正が施行され、介護報酬のマイナス改定がされました。反面、各事業に加算項目が増設され、質の高いサービス事業者への評価として算定できるようになりました。

この加算項目には資格や研修受講経歴が必要な要件を設定されている事項も多く、当法人では、これまで取り組んできました職員研修への積極的な参加奨励による職員育成が生かされ、多くの加算項目を算定できたことで、法改正前の収入水準を維持することが可能となりました。

次に、介護老人福祉施設においては特別な事情がない限り原則要介護3・4・5の認定を受けられた方のみが入所対象になることへの改正もなされました。これにより、在宅で介護を受ける重度要介護者の受け入れをより優先させることとなりますが、事業所にとっては、介護量の増加と、医療依存度の上昇、状態変化の激しい方への対応など問題も多く発生することとなっています。

これらにも対応すべく、えんやまグループ内の各施設・事業所と連携し、より良い介護サービスの提供が可能となるよう調整を行っております。

さて、経費面においては平成26年4月から取り組んでおります「1%運動」を継続実施し、2年が経過しました。これまでに介護必需品や備品の適正在庫化、光熱水道や燃料等の節約等により、必要経費の節減に確実な成果が見られております。

今後の展望につきましては、平成27年4月の介護保険制度等改正で実施されることとなった「地域包括ケアシステム」が平成29年度より全国で本格的に動き始めます。

七尾市においても新たな介護サービスを模索しており、各種審議会、検討委員会理事長以下、施設長等が委員として参画しており、当法人として取り組むべきことがあれば積極的に実施してまいりたいと考えております。また、以前より検討しております「サービス付き高齢者向け住宅」についてより具体化し、七尾市における医療・介護サービスの一翼を担いたいと考えております。

我々は、えんやまグループの他の事業と「協働」して、法人の事業を利用いただいている方々やそのご家族、地域の方々、更には法人で働く職員とその家族すべてが、安心して生活できるよう良質なサービスの提供に努めるとともに、地域福祉活動の拠点としてさらに地元根ざした施設づくりを進めで参りたいと考えております。

4 理事会・評議員会

《 理 事 会 》

第1回理事会

日 時	平成 27 年 5 月 21 日 (木) 午後 6 時 00 分~午後 6 時 55 分
場 所	番伊会議室
出席者数	理事 6 人 監事 2 人
議 件	議案第 1 号 平成 26 年度事業報告 議案第 2 号 平成 26 年度収支決算報告及び平成 26 年度監査報告 議案第 3 号 (仮)サ高住千寿建設工事造成工事(第 4 期)の指名競争入札に係る業者の指名について 議案第 4 号 (仮)サ高住千寿建設工事造成工事に伴う駐車場舗装工事の指名競争入札に係る業者の指名について 報告第 1 号 (仮)サ高住千寿建設工事造成工事(第 3 期)に係る業者の決定について 報告第 2 号 普通乗用車購入(買換え)に係る業者の決定について 報告第 2 号 平成 26 年度科目間流用について その他

第2回理事会

日 時	平成 27 年 10 月 22 日 (木) 午後 6 時 30 分~午後 7 時 10 分
場 所	千寿苑会議室
出席者数	理事 6 人 監事 1 人
議 件	議案第 1 号 経理規程の一部改正について 議案第 2 号 運営規程の一部改正について 議案第 3 号 個人番号及び特定個人情報取扱規程について 議案第 4 号 就業規則の一部改正について 議案第 5 号 (仮)サ高住千寿建設計画の変更について 議案第 6 号 平成 27 年度収支補正予算(案)について 議案第 7 号 社会福祉法人緑会評議員の任期満了に伴う改選について 報告第 1 号 平成 26 年度・平成 27 年度社会福祉施設指導監査の結果について 報告第 2 号 (仮)サ高住千寿建設工事造成工事(第 4 期)の指名競争入札の結果について 報告第 3 号 (仮)サ高住千寿建設工事造成工事に伴う駐車場舗装工事の指名競争入札の結果について 報告第 4 号 平成 27 年度科目間流用について その他

第3回理事会

日 時	平成 27 年 10 月 22 日 (木) 午後 7 時 50 分~午後 7 時 55 分
場 所	千寿苑会議室
出席者数	理事 6 人 監事 1 人
議 件	議案第 1 号 社会福祉法人緑会理事長の互選について

第4回理事会

日 時	平成 28 年 3 月 26 日 (木) 午後 6 時 30 分~午後 7 時 40 分
場 所	千寿苑会議室
出席者数	理事 6 人 監事 2 人
議 件	議案第 1 号 平成 27 年度収支補正予算案について
	議案第 2 号 就業規則の一部改正について
	議案第 3 号 一般事業主行動計画(ワークライフバランス)について
	議案第 4 号 介護福祉士養成校就学生に対する奨学金制度の創設について
	議案第 5 号 平成 28 年度事業計画案について
	議案第 6 号 平成 28 年度収支予算案について
	議案第 7 号 平成 28 年度国土交通省補助金を活用した建築物省エネ化推進事業 について
	議案第 8 号 (仮)サ高住千寿建設工事造成工事(第 6 期) の指名競争入札に係る業 者の指名及び入札の執行について
	報告第 1 号 平成 27 年度社会福祉法人指導監査の結果について
	報告第 2 号 平成 27 年度科目間流用について
	そ の 他

《評議員会》

第1回評議員会

日 時	平成 27 年 5 月 21 日 (木) 午後 7 時 00 分~午後 7 時 30 分
場 所	番伊会議室
出席者数	評議員 14 人 監事 2 人
議 件	議案第 1 号 平成 26 年度事業報告 議案第 2 号 平成 26 年度収支決算報告及び平成 26 年度監査報告 議案第 3 号 (仮)サ高住千寿建設工事造成工事(第 4 期)の指名競争入札に係る業者の指名について 議案第 4 号 (仮)サ高住千寿建設工事造成工事に伴う駐車場舗装工事の指名競争入札に係る業者の指名について 報告第 1 号 (仮)サ高住千寿建設工事造成工事(第 3 期)に係る業者の決定について 報告第 2 号 普通乗用車購入(買換え)に係る業者の決定について 報告第 2 号 平成 26 年度科目間流用について その他

第2回評議員会

日 時	平成 27 年 10 月 22 日 (木) 午後 7 時 15 分~午後 7 時 45 分
場 所	千寿苑会議室
出席者数	評議員 13 人 監事 1 人
議 件	議案第 1 号 経理規程の一部改正について 議案第 2 号 運営規程の一部改正について 議案第 3 号 個人番号及び特定個人情報取扱規程について 議案第 4 号 就業規則の一部改正について 議案第 5 号 (仮)サ高住千寿建設計画の変更について 議案第 6 号 平成 27 年度収支補正予算(案)について 議案第 7 号 社会福祉法人緑会理事・監事の任期満了に伴う改選について 報告第 1 号 平成 26 年度・平成 27 年度社会福祉施設指導監査の結果について 報告第 2 号 (仮)サ高住千寿建設工事造成工事(第 4 期)の指名競争入札の結果について 報告第 3 号 (仮)サ高住千寿建設工事造成工事に伴う駐車場舗装工事の指名競争入札の結果について 報告第 4 号 平成 27 年度科目間流用について その他

第3回評議員会

日 時	平成 28 年 3 月 26 日 (木) 午後 7 時 45 分~午後 8 時 35 分
場 所	千寿苑会議室
出席者数	評議員 14 人 監事 2 人
議 件	議案第 1 号 平成 27 年度収支補正予算案について 議案第 2 号 就業規則の一部改正について 議案第 3 号 一般事業主行動計画(ワークライフバランス)について 議案第 4 号 介護福祉士養成校就学生に対する奨学金制度の創設について 議案第 5 号 平成 28 年度事業計画案について 議案第 6 号 平成 28 年度収支予算案について 議案第 7 号 平成 28 年度国土交通省補助金を活用した建築物省エネ化推進事業について 議案第 8 号 (仮)サ高住千寿建設工事造成工事(第 6 期)の指名競争入札に係る業者の指名及び入札の執行について 報告第 1 号 平成 27 年度社会福祉法人指導監査の結果について 報告第 2 号 平成 27 年度科目間流用について その他

5 監査

平成 26 年度決算監査

日 時 平成 27 年 5 月 14 日 (水) 午後 2 時 00 分~午後 4 時 00 分

場 所 千寿苑会議室

出席者数 監事 2 人

監査結果 (1)事業報告書は、関連する法令及び通知に従い、当会の事業の実行状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
(2)財産目録は、関連する法令及び通知に従い、当会の財産を正しく示し、不整の点はないと認めます。
(3)貸借対照表は、関連する法令及び通知に従い、当会の資産と負債の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
(4)収支計算書および事業活動計算書は、関連する法令及び通知に従い、当会の収入と支出の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。

6 年度別法人事業毎の利用者実績数

1 千寿苑(介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)) ※平成24年3月21日より50名から80名へ増床、平成27年3月21日より80名から98名へ定員変更

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
利用延べ人数	16,765人	17,261人	17,576人	17,903人	27,402人	26,844	26,770	32,966
稼働率	91.9%	94.6%	96.3%	96.0%	93.8%	91.9%	91.1%	91.9%

2 千寿苑(短期入所生活介護(ショートステイ)) ※平成24年3月21日より10名から20名へ増床、平成27年3月21日より20名から2名へ定員変更

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
利用延べ人数	3,995人	4,029人	4,190人	4,317人	5,929人	7,185	5,645	2,171
稼働率	109.5%	110.4%	114.7%	115.1%	81.2%	98.4%	79.3%	296.6%

3 せんじゅ(通所介護(デイサービス)) ※平成14年10月1日開設 平成24年3月21日より定員20名、平成25年8月1日より20名から30名へ定員変更

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
営業日数	304日	308日	308日	307日	305日	308日	306日	309日
利用延べ人数	10,675人	10,888人	10,818人	10,428.5人	5,472人	6,636人	7,256人	7,902
稼働率	87.8%	88.4%	87.8%	85.2%	69.1%	72.0%	79.0%	85.2%

4 なでしこ(通所介護(デイサービス)) ※平成24年3月21日開設 定員20名、平成25年8月1日より20名から30名へ定員変更

				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
営業日数				10日	305日	308日	306日	309日
利用延べ人数				143人	5,657人	6,723人	6,665人	7,301
稼働率				71.5%	69.3%	72.7%	72.6%	78.8%

5 やくしの里(認知症対応型共同生活介護(グループホーム)) ※平成19年4月1日開設 定員9名

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
利用延べ人数	3,060人	3,107人	3,185人	3,245人	3,279人	3,254人	3,132人	3,274
稼働率	93.2%	94.6%	97.0%	98.5%	99.8%	99.0%	95.3%	99.4%

6 たかしの里(小規模多機能型居宅介護施設) ※平成25年7月1日開設 登録定員25名

						25年度	26年度	27年度
月平均登録者数						11.8人	17.3人	22.5
登録率						47.2%	69.2%	90.0%

7 職員研修等について

職員の知識及び介護技術等の習得・向上、施設運営について必要な知識習得のために県内・国内など法人外で開催される研修・講習等(以下「外部研修」と称す。)へ積極的に参加させるとともに、事業所単位・法人単位・グループ全体等内部での研修会や勉強会(以下「内部研修」と称す。)も実施している(各事業所報告に記載)。

また、資格取得や更新に必要な研修への参加も奨励している。

【外部研修】

日付	研修会名	参加者数
4月4日	高齢者の栄養管理②・③ ー栄養診断ー	1人
4月21日	介護認定調査員研修	1人
4月23日	フレッシュマン・チア・フェスタ	4人
4月24日	県福祉合同入職式	4人
5月2日	介護職のための接遇・マナー	2人
5月～7月	介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修(前期)	1人
5月20日	スキルアップ講習「介護職のための接遇・マナー」	2人
5月20日	仕事に活かそうワンポイントレッスン1	1人
5月30日	ロココム 文章・編集塾 能登教室 第6回	2人
6月～7月	認知症介護実践研修・実践リーダー研修	1人
6月～9月	介護支援専門員更新研修	3人
7月10日	七尾市介護保険事業者連絡会 情報交換会	1人
7月12日	2015年度中部・北陸床ずれセミナー	2人
7月14日、15日	福祉施設におけるケア事故予防研修	2人
7月23日、24日	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会	3人
8月7日	デイサービスセンター・特別養護老人ホーム経営3年戦略セミナー	1人
8月26日	認知症ケアのポイント	1人
9月1日	養介護施設従事者等による高齢者虐待防止研修	2人
9月5日	感染管理認定看護師による感染対策セミナーin石川	2人
9月7日～10月22日	認知症介護実践研修・実践者研修	1人
9月～11月	介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修(後期)	2人
9月12日、27日	介護職員たん吸引等指導者養成研修(後期)	1人
9月17日、18日	第34回全国社会福祉法人経営者大会	1人
9月20日	拘縮が強い利用者の進行させない!拘縮予防と有効なポジショニング	1人
10月7日、8日	認知症対応型サービス事業管理者研修	2人

日付	研修会名	参加者数
10月19日	平成27年度 老人施設職員研究会議	2人
10月22日	感染症予防研修会	5人
10月28日,29日	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	1人
11月20日	地域づくりによる介護予防推進支援事業担当者研修会	1人
11月5日	認知症の理解と家族支援 スキルアップ研修	2人
11月7日	介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修 第2回指導者養成講習	1人
11月8日	平成27年度 第1回結核臨床研修会	1人
11月9日～12月18日	認知症介護実践研修・実践者研修（第3回）	2人
11月11日～13日	第72回全国老人福祉施設大会	1人
11月12日	平成27年度福祉サービスに関する苦情解決事業研修会	1人
11月18日,19日	認知症高齢者グループホーム初任者研修	1人
12月4日	フットケアを究める	1人
12月10日	現場で取り組む感染防止策	1人
12月18日	介護記録の書き方	1人
12月19日～1月17日	介護福祉士養成実習施設実習指導者特別研修	1人
12月20日	高齢者施設等での口腔ケア従事者育成研修会	1人
1月15日	新年社会福祉法人経営セミナー	1人
1月17日,18日	認知症介護サービス向上研修	1人
1月18,19日 2月16,17日	初級リスクマネージャー研修	1人
1月30日	能登地区 在宅医療地域リーダー研修会	1人
2月15日	七尾市総合福祉施設協議会職員交流研修会	7人
2月23日	身体拘束廃止推進養成研修	2人
2月24日	石川県老人福祉施設協議会施設長・事務長等研修会	1人
3月15日	災害時の相互支援ネットワーク研修会	1人

【資格取得】 ・受 験 介護支援専門員 5人（合格者0人）
・資格更新 介護支援専門員 3人

8 地域貢献活動

※基本理念の下、地域に貢献できる法人として、以下のさまざまな取り組みを行っております。

☆公民館活動の支援

【清掃活動】

徳田公民館及び徳田地区実践委員会への協力

- ・八幡交差点一本松公園及び地下道周辺の草刈り、清掃

実施日：平成27年9月2日（水）13：30～15：00

参加人数：職員10人

【徳田まつり出店】

- ・えんやまグループとして救護所、「医療・保健・福祉」等の相談コーナーの開設とともに、バイタルサイン測定、骨密度測定などの健康チェックを実施

【南大呑まつり出店】

- ・やくしの里として、模擬店（わたがし）を出店

☆地域交流活動

【徳田児童放課後クラブ】 8月来苑、入所利用者との交流

【グループデイ交流会】 徳田地区で開催している国分町、若林町の各グループデイと入所・デイサービス利用者職員ともに相互に訪問し交流会を開催する

【地域の保育所との交流】 徳田地区にある認定こども園ひまわり、あさひ保育園児との交流会をデイサービスそれぞれに内容を検討し実施する

【第12回千寿苑夏祭り開催】 7月30日（木）午後6時30分より施設玄関面駐車場にて開催。

☆ボランティア活動

【雪かき隊活動】 除雪予定先軒数：7軒

- ・実稼働日数；2日間（平成28年1月25日～平成28年2月17日内）
- ・延べ除雪軒数；13件

【活動の受入】 個人活動、団体活動・企業研修先として年間を通して受入を実施

- ・サマーボランティア体験（主催：石川県社会福祉協議会）
- ・ふくしのしごと職場体験（主催：石川県社会福祉協議会）

【収集・寄贈活動】 使用済切手収集：事務所内に専用箱を設置し回収。

- ・アルミ缶・ペットボトルキャップ収集：施設内に専用回収箱を設置

【その他】

- ・献血会への参加：北親会献血会に協力、年2回献血可能な職員数名参加
- ・地域の消防団員活動支援協力事業所として県知事感謝状受賞（団員3人）

☆実習・見学・その他

【実習受入】

- ・年間を通してヘルパー資格取得並びに高等学校福祉系学科や専門学校などの養成校実習、教員免許取得の為の介護体験受入

【施設見学】

- ・企業研修や看護学校、民生児童員の知識向上を目的とした見学に随時対応を行う

【施設開放】

- ・各種職能団体の研修会場として地域交流ホールを提供（利用実績；2団体、4日間）

9. 月別活動状況一覧

月	日	行事・業務	日	地域交流・ボランティア・会合・研修	
4 月	1	入職式・辞令交付式、			
	3	介護力向上委員会		田鶴浜高校千寿苑実習（3年生） 4人	
	6	徳田、有磯小学校入学式出席			
	8	田鶴浜高校入学式出席			
	8	感染対策委員会・グループ在宅会	2	田鶴浜高校生ボランティア 2人	
	10	合同栄養委員会	7	田鶴浜高校生ボランティア 3人	
	10	入所；花見ドライブ1日目			
	11	入所；花見ドライブ2日目			
	13	なでしこ；花見ドライブ1日目	16	府中町若衆木遣り 5人	
	14	安全対策委員会	25	魚町若衆木遣り 4人	
	14	なでしこ；花見ドライブ2日目			
	15	伝言ダイヤル訓練日			
	15	せんじゅ；花見ドライブ1日目	16	徳田地区役員歓送迎会出席	
	15	防災委員会	11	徳田地区社会福祉協議会定期総会出席	
	15	家族会役員会	21	県老人福祉施設協議会役員会	
	16	褥瘡対策委員会	23	フレッシュマン・チア・フェスタ	
	16	花見会	24	石川県福祉職合同入職式	
	17	せんじゅ；花見ドライブ2日目			
	21	ワックスがけ1日目			
	22	ワックスがけ2日目			
	23	入所；百寿祝い			
	23	施設連携会議			
	24	身体拘束廃止委員会			
	24	入居検討委員会			
	27	緑会運営委員会・衛生委員会			
	28	グループ運営会議			
	5 月	1	伝言ダイヤル訓練日		
		1	介護力向上委員会		田鶴浜高校千寿苑実習（3年生） 4人
4		入所、やくしの里、たかしなの里：青柏祭見物		国際医療福祉専門学校実習（2年生） 1人	
8		合同栄養委員会			
9		なでしこ：母の日の集い			
11		せんじゅ：新緑ドライブ1日目			
12		安全対策委員会	27	さくらの会慰問	
12		七尾市介護保険事業者連絡会	31	藤サークル慰問 5人	
12		せんじゅ；新緑ドライブ2日目			
13		感染対策委員会・グループ在宅会			
14		社会福祉法人緑会監査	29	講師派遣；田鶴浜高等学校進路講話	
16		千寿苑家族会総会			
20		防災委員会			
20		なでしこ：新緑ドライブ1日目			
21		褥瘡対策委員会	1	県経営協役員会	
21		なでしこ：新緑ドライブ2日目	27	県経営協・県関係部局幹部職員情報交換会	
21		社会福祉法人緑会理事評議員会			
25		緑会運営会議・衛生委員会	13	県老人福祉施設協議会総会	
26		グループ運営会議	22	県社会福祉法人経営者協議会総会	
28		施設間連携会議			
28		入所；父母の日会			
29		入居検討委員会			

月	日	行事・業務	日	地域交流・ボランティア・会合・研修
6月	5	介護力向上委員会		田鶴浜高校千寿苑実習 (3年生) 4人
	9	安全対策委員会		
	9	七鹿消防危険物立入検査		
	10	防災委員会	1	田鶴浜高校生ボランティア 4人
	10	感染対策委員会・グループ在宅会	3	和倉大正琴教室コスモス演奏会 13人
	11	七尾市介護保険事業者連絡会		
	12	合同栄養委員会		
	17	防災避難訓練(日中想定)	10	せんじゅ; 認定こども園ひまわり交流会
	18	褥瘡対策委員会	15	なでしこ; あさひ保育園交流会
	19	身体拘束廃止委員会		
	24	衣料品移動展示販売会		
	25	施設間連携会議	13	なでしこ; コスモスロード奉仕作業
	26	入居検討委員会		
	29	社会福祉法人等指導監査		
30	グループ運営会議			
7月	1	伝言ダイヤル訓練日		
	3	介護力向上委員会		田鶴浜高校千寿苑実習 (3年生) 2人
	4	千寿苑家族会役員会		田鶴浜高校せんじゅ実習 2人
	6	緑会運営会議・衛生委員会		
	7	せんじゅ; セブツ喫茶		
	8	感染対策委員会・グループ在宅会	4	ハッピーレディース八幡 3人
	10	シェイクアウトいしかわ	16	かすみ草楽器演奏会 3人
	10	合同栄養委員会		
	10	田鶴浜高校福志式		
	14	安全対策委員会	21	徳田放課後児童クラブ交流会 19人
	14	七尾市介護保険事業者連絡会		
	15	防災委員会		
	16	褥瘡対策委員会	7・8・9	わく・ワーク体験(朝日中) 3人
	22	年金機構業務点検		
	22	なでしこ; 流しそうめん	30	夏まつりボランティア 40人 夏まつり千野・八幡婦人部の方々
	23	施設間連携会議		
24	入居検討委員会			
27	緑会運営会議・衛生委員会			
28	グループ運営会議	24	北親会献血活動	
30	第13回千寿苑夏まつり			
8月	1	伝言ダイヤル訓練日		
	4	ワックス掛け1日目		田鶴浜高校千寿苑実習 (2年生) 4人
	5	感染対策委員会		国際医療福祉専門学校施設実習 1人
	5	ワックス掛け2日目		
	7	介護力向上委員会	1	サマーボランティア体験 4人
	11	安全対策委員会	3	サマーボランティア体験 6人
	12	グループ在宅連絡会	10	サマーボランティア体験 2人
	13	デイ; 合同夏祭り	11	サマーボランティア体験 2人
	19	防災委員会	17	サマーボランティア体験 3人
	20	褥瘡対策委員会	18	サマーボランティア体験 6人
	21	合同栄養委員会	19	サマーボランティア体験 2人
	25	グループ運営会議	20	サマーボランティア体験 2人
	27	施設連携会議		
	28	入居検討委員会		
	31	緑会運営会議・衛生委員会	10	七尾看護専門学校施設見学 35人

月	日	行事・業務	日	地域交流・ボランティア・会合・研修
9 月	1	伝言ダイヤル訓練日		
	2	地域貢献活動（一本松公園周辺清掃）		国際医療福祉専門学校施設実習 1人
	4	介護力向上委員会		国際医療福祉専門学校デイ実習 2人
	8	安全対策委員会		教員免許取得介護体験(千寿苑) 1人
	9	感染対策委員会・グループ在宅会		
	11	合同栄養委員会		
	11	七尾市介護保険事業者連絡会	24	七尾特別支援学校生徒清掃活動 6人
	16	防災委員会		
	17	褥瘡対策委員会		
	17	せんじゅ；県在宅高齢者マッサージ事業	30	県老協役員会
	18	入所：運動会		
	19	学卒求職者採用面接試験		
	19	せんじゅ；敬老の集い		
	21	なでしこ；県在宅高齢者マッサージ事業		
	24	施設連携会議		
	25	入居検討委員会		
25	なでしこ；敬老会			
28	緑会運営会議・衛生委員会			
29	グループ運営会議			
30	七尾市風船ハレボール大会			
10 月	1	伝言ダイヤル訓練日		
	2	介護力向上委員会		田鶴浜高校千寿苑実習（2年生） 4人
	3	千野町会秋祭り		
	3	七尾市民健康福祉まつり（永年勤続表彰）		
	9	合同栄養委員会	1	田鶴浜高校専攻科施設見学 40人
	10	八幡町会秋祭り	20	本府中町明老会施設見学 28人
	11	徳田まつり（医療・保健・福祉相談参加）		
	13	安全対策委員会		
	14	感染対策委員会・グループ在宅会	17	R2キッズダンス慰問 6人
	14	七尾市介護保険事業者連絡会		
	15	褥瘡対策委員会		
	17	入所；敬老会		
	21	防災委員会		
	22	施設連携会議		
	22	理事・評議委員会		
	26	緑会運営会議・衛生委員会		
27	グループ運営会議			
30	入居検討委員会			
30	せんじゅ・なでしこ；合同運動会			
11 月	1	入所；日帰り旅行		田鶴浜高校千寿苑実習 4人
	3	デイ；「菊花展」観覧		
	5	防火避難訓練（夜間想定）	17	七尾特別支援学校生徒清掃活動 6人
	6	介護力向上委員会		
	10	安全対策委員会	21	エバリーコンサート
	11	感染対策委員会・グループ在宅会		
	11	七尾市介護保険事業者連絡会		
	13	合同栄養委員会・衣料品移動展示販売会	27	社会福祉施設職員退職共済業務実務研修会
	18	防災委員会		
	19	褥瘡対策委員会		
	24	グループ運営会議		
	26	施設連携会議		
	27	入居検討委員会		
30	緑会運営会議・衛生委員会			
30	若林町よるまい会交流会			

月	日	行事・業務	日	地域交流・ボランティア・会合・研修
12月	1	伝言ダイヤル訓練日	17	七尾特別支援学校生徒清掃活動 6人
	4	介護力向上委員会		
	8	安全対策委員会・ワックスがけ1日目		
	9	感染対策委員会・ワックスがけ2日目		
	9	グループ在宅会		
	10	J A歳未愛の助け合い運動来苑		
	11	合同栄養委員会		
	12	七尾市介護保険事業者連絡会		
	16	七尾市社会福祉法人監査		
	16	防災委員会		
	17	褥瘡対策委員会		
	22	入所;クリスマス会		
	24	施設連携会議		
	25	入居検討委員会		
28	緑会運営会議・衛生委員会			
29	せんじゅ;年忘会			
30	なでしこ;年忘れ会			
1月	3	徳田地区新年の集い		
	4	仕事初め式		
	6	なでしこ;初詣		
	8	介護力向上委員会		
	8	せんじゅ;初詣		
	9	入所;初詣		
	12	安全対策委員会		
	13	感染対策委員会・グループ在宅会		
	13	七尾市介護保険事業者連絡会		
	13	七尾市総合社会福祉施設協議会		
	15	伝言ダイヤル訓練日		
	15	合同栄養委員会		
	18	せんじゅ;新年会		
	20	防災委員会		
21	褥瘡対策委員会			
22	身体拘束廃止委員会			
25	緑会運営会議・衛生委員会			
28	施設連携会議			
29	入居検討委員会			
2月	1	伝言ダイヤル訓練日	1	ここにこ一座 14人
	5	介護力向上委員会		
	9	安全対策委員会	24	七尾特別支援学校生徒交流会 19人
	10	感染対策委員会・グループ在宅会		
	12	合同栄養委員会		
	12	七尾市総合社会福祉施設協議会		
	16	デイ合同もちつき会		
	17	入所;もちつき会		
	17	防災委員会		
	18	褥瘡対策委員会		
	18	グループデイ国分くつろぎ交流会		
	25	施設連携会議		
	25	七尾鹿島ライフサポートセンタータオル寄贈		
	26	入居検討委員会		
29	緑会運営会議・衛生委員会			

月	日	行事・業務	日	地域交流・ボランティア・会合・研修	
3 月	1	伝言ダイヤル訓練日			
	2	せんじゅ;ひな人形展見学外出	28	アリス学園生徒ボランティア 1人	
	3	入所;ひな祭り会・105歳祝	30	田鶴浜高校学生ボランティア 3人	
	3	せんじゅ;ひな祭りの集い	31	田鶴浜高校学生ボランティア 2人	
	3	なでしこ;ひな人形展見学外出			
	4	入所;ひな人形展見学外出			
	4	介護力向上委員会	3	ハッピーレディース八幡 6人	
	8	安全対策委員会			
	8	グループ運営会議講演会			
	9	感染対策委員会・グループ在宅会	1	田鶴浜高校卒業証書授与式	
	11	合同栄養委員会			
	11	七尾市介護保険事業者連絡会			
	11	石川県介護保険等集団指導	15	県老協全国大会実行委員会	
	16	防災委員会			
	17	褥瘡対策委員会			
	18	徳田・有磯小学校卒業式			
	22	新卒入職者研修(～31日)			
	24	理事会・評議員会、施設連携会議			
	25	身体拘束廃止委員会			
	25	入居検討委員会			
	28	緑会運営会議・衛生委員会			
	29	グループ運営会議			
	※		生花サークル 第1・第3木曜日		
	※		習字サークル 第2・第4木曜日		
	※		クッキング(調理クラブ) 毎月		
			誕生会 毎月		
			温泉週間(かわり湯) 毎月		
			業務会議 毎週月曜日		
				毎月第1・3木曜日ボランティア 1人	

10 各事業所の報告

I 千寿苑（入所・短期入所）

家庭での介護が困難な高齢者に対し、入所により良質な介護サービスを提供するとともに、当該高齢者の社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上、自立的生活の助長等を図り、入所利用者に「感謝」し「ありがとう」の言葉を積極的にかけることができるよう、また、その家族の身体的及び精神的な負担の軽減に寄与するよう努めてまいりました。

【特別養護老人ホーム】

1 個別支援処遇・職員の介護力向上への取り組み

入所者ひとり一人の身体的状況や希望に応じた適切な介護プランを作成し、満足度が高い介護サービスを提供すると共に、精神面の充足と機能訓練も取り入れ、自立を目指した処遇に努めました。また、本年度新たに機能訓練指導員を採用し、機能訓練を強化する体制を整え、よりよい施設生活の提供に努めてまいりました。

また、平成26年度より実施している「介護職向上への取り組み」も継続実施し認知症上のある方への対応として「水分・食事・排泄・運動」を実践することで、症状の改善やおむつ使用の廃止に向けた取り組みを実施しました。

2 教養娯楽

教養面や娯楽面では社会的関心や知識欲に対し、新聞・雑誌・テレビ等は随時利用できるよう、また各種レクリエーションやクラブ活動の場を提供致しました。

3 保健衛生

(1) 一日の生活リズムの区切りと個人の身体清潔保持の為、起床時の洗顔・口腔ケア・着替え等は全員について誘導・介助、身の整理・清潔保持の為の居室清掃は毎日、リネン交換は週1回、入浴は通常週2回一般浴或いは機械浴を全入所者に行ないました。居室・施設内の換気及び湿度保持についても、自動換気設備の活用と共に、できる限り機会をみて外気の換気も行ないました。

(2) 入所者及び職員の定期健康診断は年1回行い、夜勤対応者等は春秋の2回実施しました。

また、新規採用職員については採用時健康診断を行いました。

(3) インフルエンザ・食中毒・その他の施設内での感染予防については、日頃から職員に注意を促し、館内の清掃にあたっては適切な薬剤を使用し徹底した予防を行いました。

また、嘱託医の指導助言等によりインフルエンザ並びに肺炎球菌ワクチンの予防接種等も行ないました。これに加え、感染予防についての意識・知識の啓蒙を図るため研修会の参加と感染防止対策委員会の充実を図りました。

本年度は、12月及び2月にノロウイルスやインフルエンザが発生しました。主にショートステイ利用者の発症でありましたが、大規模な感染となる前に対策を講じ、速やかに収束させることができました。

4 防火・防災対策

防火訓練等については年2回実施し、11月には夜間訓練併せて緊急連絡網の訓練を実施致しました。

5 家族及び地域との交流

- (1)施設の行事等については家族の皆様にも参加を呼びかけ、施設サービスの理解と入所者・職員・ボランティアとの交流を深めてきました。今年度も夏まつりを実施し、入所者・ご家族・職員の交流の場として盛会に行いました。
- (2)資格取得実習、教育実習やボランティア等を積極的に受け入れました。
- (3)家族と施設の交流・意見交換の場として家族会運営の支援を図りました。

7 広報活動

家族の皆様には広報紙を年間6回発行し、施設内での生活の様子を写真を多用しわかりやすく紹介するとともに、制度改正や最新情報の提供を行いました。
グループ広報としては年間2回発行し、徳田、南大呑、高階地区各戸に配布致しました。

8 職員の資質の向上・自己啓発

- (1)職員個々の技能・スキルアップの為に資格取得を積極的に進めました。
- (2)内外研修、セミナーへの参加・派遣・グループ内勉強会を積極的に行ないました。

【ショートステイ(短期入所)】

利用者の心身の状況により、家族の疾病・冠婚葬祭・出張並びに利用者の家族の身体的及び精神的な負担の軽減を図るために、短期入所生活介護を提供してまいりました。

☆サークル活動報告

生花サークル：第1・3木曜日 ボランティアの指導で四季折々の生け花をいけ、苑内の各所に設置し、入苑者の心を和ませます。

書道サークル：第2・4木曜日 ボランティアの指導で書を楽しむ

手芸サークル：毎週水曜日 職員等の指導で、手先のリハビリも兼ねて各種手芸品を造る。

クッキングクラブ：栄養課資料参照

平成 27 年度 入退所状況

【入所】

入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	7
女性	0	4	1	0	2	1	1	0	1	1	2	1	14
合計	2	5	2	0	2	1	1	0	2	1	3	2	21
【入所前所在地】	在宅：9人			医療機関：2人			その他施設：10人						

【退所】

退所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5
女性	1	2	0	2	1	0	1	0	2	2	1	0	12
合計	2	3	0	2	1	0	1	0	2	3	2	1	17
【平均年齢】	90.47歳（84歳～98歳）												
【退所理由】	逝去：10人 長期入院：7人 その他：0人												
【平均在籍日数】	3年6ヶ月（最長13年3ヶ月、最短0年3ヶ月）												

平成 27 年度 千寿苑内部研修実績

日 付	研 修 名	実施場所
3 月 24 日, 25 日, 26 日, 30 日	新入職員研修	2 階ダイルーム
	職員の倫理・ビジネスマナー・身だしなみ	
	安心安全ケア・感染症対策・看取り介護	
	身体拘束と虐待・専門職としての知識	
6 月 8 ・ 9 日	身体拘束勉強会	地域交流ホール
6 月 9 日	ビジネスマナー	2 階ダイルーム
6 月 13 日	虐待とは	2. 3 階ダイルーム
9 月 8 日	高齢者虐待	2 階ダイルーム
9 月 8 日	手洗いと食中毒	2 階ダイルーム
10 月 5 ・ 6 日	認知症について	2 階ダイルーム
10 月 5 ・ 6 日	看取りと精神ケアについて	2 階ダイルーム
10 月 5 ・ 6 日	心肺蘇生	2 階ダイルーム
11 月 9 日	危険予知訓練	2 階ダイルーム
11 月 9 日	感染症	2 階ダイルーム
11 月 9 日	個人情報とプライバシー	2 階ダイルーム
12 月 10 日	医療について	2 階ダイルーム
12 月 10 日	職員の倫理	2 階ダイルーム
12 月 10 日	接遇について	2 階ダイルーム
2 月 23 日	身体にかかる圧の影響と対策	地域交流ホール
3 月 8 日	医療と介護のこれから	地域交流ホール
毎月ミーティング時	その他の出張研修伝達講習	各部署

平成 27 年度目標に対する自己評価

部署 介護老人福祉施設 千寿苑 (看護・介護) No.1

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
○利用者の意向にそった支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人、家族の希望を伺う ・ 各専門職が協働し、情報を理解し共有して関わる ・ 日々の関わりやサービスの内容について検討 ・ 家族との連携 ・ 専門性を活かした関わり 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人家族に希望を伺い、表にして職員が意識して関われるように毎日目に見える所に掲示した ・ 外出希望には、主に担当職員や相談員がご家族と連携し計画を立て実施。 ・ 7月から機能訓練指導員が入職、情報を共有して関わった。 ・ 自宅へ外出希望された時は、車椅子での対応が困難と言われるご家族もいたが、相談員や介護職が付き添うことで安心されていた。ご近所の方との再会で笑顔や涙がみられた。 ・ 希望があっても、状態の変化や季節柄実施できない方もいた。 ・ (外出希望 19 人中 15 人実施) ・ 放課後児童クラブとの交流では、一緒に綿菓子を食べる等して喜ばれていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臥床中心の方（特に経管者）は、苑内イベントや入浴時のみの離床となり、なかなか刺激に繋がる関わりが拡大できていない。 ・ 子供参加のイベントを喜ばれる方が多いため、保育園等にできるだけ調整していただけるように働きかける ・ 今後も本人家族の意向を伺い、少しでも希望に沿えるような支援に努める

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

平成 27 年度目標に対する自己評価

部署 介護老人福祉施設 千寿苑 (入所・ショート)

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
○働きやすい環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度目標達成についてのアンケートを実施 ・ 毎月目標を立案し全員で実行、評価 ・ 相手の立場に立った言葉遣いや行動 ・ 介護技術や接遇等研修会の開催 ・ 年間を通してテーマを決め全員で取り組む 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「職員間での協働」について、アンケートをとり、計画立案した。 ・ SS 内に毎月の目標を掲示し意識付けを行った。他者及び自己評価を実施。毎月他者評価を先にすることで自己の反省に繋がった。 ・ 研修参加者が資料を基に研修報告、苑内研修の実施。 ・ 年間の取組みを「ベルマーク」「衣類」収集とし毎月集計。 ・ 地域貢献として、ベルマークは保育園へ、衣類はみのり園へ寄贈した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ベルマーク…686 枚 ・ 衣類 …542 枚 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の目標に対する他者自己評価や接遇等研修を実施したが、日が経つにつれて意識が薄れている。外部から評価されているという意識も持ちながら、「すみません、ありがとう」等お互いを思いやる言葉遣いや行動がとれるように、定期的に振り返り意識付けしていく。 ・ 日々の声かけにより、ベルマークや衣類の収集を意識するようになり、少しずつ増えていった。今後も継続していく。

※評価について ⇒自己採点方式 (100 点満点で評価 : A100 点～90 点、B89 点～75 点、C74 点～60 点、D60 点以下)

平成 27 年度目標に対する自己評価

部署 介護老人福祉施設 千寿苑 (相談・支援)

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<p>①利用者様の意向に沿った支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者様の情報を的確に集め、多職種間で情報を共有し、利用者及びご家族様の意向に沿った支援を行う。 利用者・ご家族様への積極的な働きかけにより、満足して頂けるような関わりをもつ(個別支援の充実) 	<ul style="list-style-type: none"> 利用契約時に利用者家族の意向を伺い、その内容を各部署に通知しケアプランに反映させる。 ご家族面会時に積極的に働きかけることで意向を引き出し、寄せられた意向を多職種と連携をとりながら実行する。 外出時の送迎援助 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初回利用契約時には、消極的な意向(特に要望もなく見て頂けるだけで十分です…等)が多い中、面会時の働きかけにより徐々に明確な要望を伺えるようになった。 車椅子では外出することが困難と考えるご家族様もいたが、送迎援助することで希望に沿うことができた。また、来年の8月に外出援助をお願いしたいとの要望もあり徐々に外出支援への取り組みが浸透している。 	<ul style="list-style-type: none"> 満足度調査の結果をもとにニーズを的確に捉え、介護サービスの質を高めることで利用者様が快適に過ごし、安心して暮らせる施設を目指し取り組む。 利用者様に寄り添い同じ時間を共有していく中で、信頼関係を深めるとともにより楽しみのもてる生活ができるよう個別支援の充実に努める。

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

平成 27 年度目標に対する自己評価

部署 介護老人福祉施設 千寿苑 (相談・支援)

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
②地域との協働 ・ 徳田地区の一員として、地域住民との関わりを深める。 ・ ボランティア活動の受け入れや地域行事・地域活動に積極的に参加する。	・ 徳田放課後児童クラブとの交流(8/21) ・ 一本松公園地下道周辺の清掃作業(9/2) ・ 徳田町秋祭りへの参加(9/20) ・ 能登歴史公園(国分町)の清掃作業(10/12) ・ 「ベルマーク」の寄贈(10/22：認定こども園ひわまり) ・ 「古着」の寄贈(11/14：みのり園) ・ 東雲高校吹奏楽部との交流会(11/7) ・ 七尾特別支援学校美化清掃班の受け入れと交流(9/24 11/19 2/17) ・ 雪かき隊による除雪作業(1/252/17)	B	・ 児童クラブとの交流会では、かき氷や綿菓子も好評で、また施設設備や福祉用具に興味関心を抱く児童も数多くいた。 ・ 徳田町秋祭りでは、神輿の担ぎ手として参加。地域住民との関わりを深めるよい機会となった。 ・ 清掃作業中にも温かく声をかけてくださる地域住民の方々と会話する機会がもてた。 ・ 美化清掃班の活動において、職員も清掃作業に関わることができればよかった。 ・ 除雪作業において、大雪の日には積雪により玄関先から道路に出ることが出来ない状況を目の当たりにし、改めて高齢者宅への除雪援助が必要不可欠であることを痛感した。	・ 次年度も地域に根差した施設を目指して、地域住民との関わりを深めることのできる活動を繰り返し広げる。 ・ 小・中・高校生との交流を図りながら、福祉施設に少しでも興味関心を持ってもらえるような活動を行う。

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

Ⅱ 栄養課事業報告

キーワード

献立、食材発注の直営化
調理業務の委託先変更（富士産業⇒クリニック直営）
これらに伴う業務の変更・見直しの実施
栄養マネジメント加算の休止

1 食事の安定供給

日々提供している食事について、衛生管理を徹底させ、安全な食事を提供することを基本としています。

今年度は、これまで調理等を委託しているえんやま健康クリニックにおいて、委託業者の業務分担変更や撤退により、調理業務を含む給食提供システムに大きな変更が行われました。

そのため、まずは日々の食事について、安全・確実に提供することから再スタートし、安定した提供ができるよう、厨房関係者と共に取り組んでまいりました。

これまでのすべてを見直し、ご利用いただいている方々へより良い食事をお届けするべく献立や食材の仕入れ、調理法、配膳に至るまで検証し、新たな手順の構築に努めました。

結果、年度末には安定した提供体制が確立され、より良い方法をさらに模索しております。

2 食の楽しみの提供

毎回の食事を集団給食ではなく家庭的な雰囲気をもった料理として提供することを心掛け、季節の料理や旬の食材を用いた献立による提供に努めています。

また、行事食、誕生日食などの「イベント食」の提供し、季節感のある、より利用者の嗜好に沿った楽しみのある食事ができようできるように取り組みました。

3 栄養委員会の開催

えんやま健康クリニックのスタッフと合同で、毎月1回定例に栄養委員会を開催し、食事に関する意見交換を積極的に行いました。

4 その他今年度の取組について（前年度よりの継続も含む）

- ① 低栄養、食欲低下対象者への栄養改善への取組
- ② 嚥下・咀嚼障害への特別な対応
- ③ 経管栄養対象者の嚥下訓練食の提供、訓練状況の確認
- ④ 褥瘡予防・治療対象者の栄養評価と指導・管理
- ⑤ 主治医の指示による各種治療食の提供と状態確認
- ⑥ 肥満・るい瘦度の確認と改善に向けた指導
- ⑦ やくしの里からの提供食事内容報告を受けてのアドバイス

平成27年度 行事食報告書

表記説明：千→千寿苑・ショート含む

㊦→デイサービスせんじゅ

㊧→デイサービスなでしこ

月	日	行事	食事・おやつ内容	クッキング
4月	14日	お花見ランチ	桜ごはん、アジフライなど おやつ：苺ドルチェ	㊦/27・28日 ㊧/22・23日 千/13日 桜もち
	20日	季節の食事	筍ごはん おやつ：花びらかん	
	23日	㊦直海ゆき様 百寿祝い	赤飯、鯛のお頭付(ご本人用) おやつ：ケーキ	
	27日	おやつバイング	まんじゅう、焼き菓子、ゼリー類	
	誕生者利用時	㊦㊧誕生会	㊦㊧/おやつ：ケーキ(誕生者のみ)	
5月	3日	憲法記念日	うな井	千/27日 いちごフルーチェ ㊦/20・22日 ㊧/11・12日 いちごサンデー
	4日	みどりの日	桜ごはん、お楽しみプレート	
	5日	こどもの日	筍ごはん、焼き魚、天ぷら	
	10日	母の日	昼食にメッセージカード	
	誕生者利用時	㊦㊧誕生会	㊦㊧/おやつ：ケーキ(誕生者のみ)	
6月	21日	父の日	昼食にメッセージカード	千/23日 フルーツみつ豆 ㊦/19・20日 ㊧/26・27日 よもぎ団子
	誕生者利用時	㊦㊧誕生会	㊦㊧/おやつ：ケーキ(誕生者のみ)	
7月	7日	七夕	昼食七夕汁	㊦/23・24日 ㊧/16・17日 水ようかん 千/30日 夏まつり
	〃		㊦七夕喫茶(和菓子、洋菓子)	
	22日		㊧流しそうめん	
	24日	土用の丑の日	うな井	
	26日	季節のおやつ	アイスクリーム	
	誕生者利用時	㊦㊧誕生会	㊦㊧/おやつ：ケーキ(誕生者のみ)	
8月	13日		㊦㊧合同夏祭り(スイカ割り)	千/21日 綿菓子&かき氷 ㊦/25・26日 ㊧/18・19日 あんみつ
	28日		㊦菜園で収穫した野菜を使ってカレー作り	
	誕生者利用時	㊦㊧誕生会	㊦㊧/おやつ：ケーキ(誕生者のみ)	
9月	18日	千寿苑運動会	千/おやつ：あんぱん(パン食い競争)	㊦/15・16日 ㊧/24・25日 おはぎ
	19日	㊦敬老会	敬老おやつ(ねりきり)	
	21日	敬老の日	敬老おやつ(ねりきり)	
	25日	㊧敬老会	園児とクッキング	
	30日	千寿苑お茶会	千/おやつ：まんじゅう3種	
	誕生者利用時	㊦㊧誕生会	㊦㊧/おやつ：ケーキ(誕生者のみ)	

月	日	行事	食事・おやつ内容	クッキング
10月	28日	千寿苑 ハロウィン喫茶	千/おやつ：バイキング	〈㊤/14・15日〉 〈㊦/20・21日〉 スイートポテト
	30日	DS運動会	㊤㊦/おやつ：あんぱん（パン食い競争）	
	誕生者利用時	㊤㊦誕生会	㊤㊦/おやつ：ケーキ（誕生者のみ）	
11月	誕生者利用時	㊤㊦誕生会	㊤㊦/おやつ：ケーキ（誕生者のみ）	〈㊤/19・20日〉 〈㊦/24・25日〉 ベビーカステラ
12月	22日	冬至	かぼちゃの温野菜サラダ	〈㊤/24・25日〉 〈㊦/24・25日〉 クリスマスケーキ
	22日	千寿苑 クリスマス会	千/おやつ：家族会よりケーキご提供あり	
	25日	クリスマス	チキンライス、カニサラダ他。 おやつ：ケーキ	
	30日	DS年忘れ会	㊤㊦/昼食：松華堂弁当	
	31日	大晦日	年越しそば、天ぷら盛り合わせ他	
	誕生者利用時	㊤㊦誕生会	㊤㊦/おやつ：ケーキ（誕生者のみ）	
1月	元日	正月	おせち	〈㊤/12・13日〉 〈㊦/12・13日〉 ゆずのお菓子 （ゆずのホットケーキ）
	2日	正月	おせち	
	3日	正月	おせち	
	18日	㊤新年会	㊤/松花堂弁当 （炊き合わせ、たたき牛蒡他）	
	誕生者利用時	㊤㊦誕生会	㊤㊦/おやつ：ケーキ（誕生者のみ）	
2月	3日	節分	巻き寿司、炒め煮他	〈㊤/12・13日〉 〈㊦/10・11日〉 おからチョコ チップクッキー
	14日	バレンタインデー	おやつ：チョコタルト	
	16日	DS合同餅つき会	㊤㊦/おやつ：あんこもち、ごまもち	
	17日	千寿苑餅つき会	千/おやつ：あんこもち、きなこもち	
	誕生者利用時	㊤㊦誕生会	㊤㊦/おやつ：ケーキ（誕生者のみ）	
3月	3日	ひなまつり	飾り寿司と手まり寿司定食	〈㊤/16・17日〉 〈㊦/17・18日〉 ぼたもち
	誕生者利用時	㊤㊦誕生会	㊤㊦/おやつ：ケーキ（誕生者のみ）	

※行事食提供時は、おしながきやイベントカード等を添えさせて頂き、見た目にも工夫しております。
 ※日常の献立においても、旬の食材や地元食材を使ったり、洋風料理や中華料理を取り入れたり、おやつバイキングを行うなど、献立がマンネリ化しないように心がけております。

※嚥下困難対応食について、味や物性はもちろんのこと、見た目にもこだわっております。

※冬季（H27.12月～H28.3月）は、月3～4回ほど、刺身提供を行いました。

※千寿苑のお食事写真



ひなまつり御膳



おやつバイキング



春のワンプレートランチ

平成 27 年度目標に対する自己評価

部署 千寿苑栄養課

目 標	計 画	取 組	評価と経過・対応策・その他報告
委託会社との協働 ⇒9月より、厨房スタッフとの協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養課理念の基、お一人おひとりのご意向や状態に適したお食事の提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①委託会社職員との円滑なコミュニケーション（報告・連絡・相談） ②給食管理の基礎構築の要請と協力（衛生管理・計量調理・栄養士業務・資源と時間の活用法など） ③食事形態の調整 ④療養食の適正化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食管理の直営化（4月より一部、9月より全面）により、管理栄養士の業務内容が大幅に変化し、計画通りに進まなかった。以下の3部に分けて評価する。 <p><給食管理> 評価：D</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直営化にあたり、給食管理の基礎構築を一番の目標とした。
他職種との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者様の思いや身体・精神・栄養状態などに寄り添った栄養管理を充実させる。 ・ 災害対策マニュアルを確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者様及び、ご家族様のご意向や身体状況・栄養状態の把握 ②利用者様の課題確認と情報共有 ③ハード面の整備 ④災害対策マニュアルの、周知徹底 	<p>委託会社からの申し送りもなく、マニュアルもない、人員不足で、マイナスからのスタートであったが、人員の充足にともない、基礎構築は整いつつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食材費の大幅な節約ができた。 <p><栄養管理> 評価：D</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容変更にともない、10月より、栄養ケア・マネジメントは中止となる。 ・ 利用者様の栄養状態を低下させなかった。平成28年2月に基本となる栄養価（約束食事箋）を見直した。 <p><栄養課(管栄・栄養士・調理師・調理員)の協働> 評価：A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直営化を過酷な条件下でスタートした。課題を検討し、前向きに取り組んだ結果、栄養課内で協働することで絆が深まった。
栄養課の協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ①管理栄養士業務の見直し（ハード面・ソフト面ともに） ②平成27年度介護報酬改正に伴う対策 ③専門的知識と、技術の向上 ④グループ栄養課内のミーティング 	

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

Ⅲ せんじゅ・なでしこ（デイサービス）

在宅生活を送る要援護者に対し、通いにより施設機能を利用することによって、自立的生活の助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上を図り、要援護者のご家族の身体的・精神的な負担の軽減に寄与するよう努めてまいりました。

平成26年度より取り組んでおります個別支援を基にした少人数でのグループケアの更なる充実を目指しました。

1 少人数グループケアの充実

要援護高齢者への基本対応として、居宅介護支援事業者との密接な連携を密にし、居宅サービス計画に基づいた通所介護及び介護予防通所介護計画を立案、選択的サービスとして提供する個別機能訓練(運動器機能向上)を行ないながら、身体機能の維持を図ると同時に、精神面での喜びや楽しさを感じてもらえるよう実施しました。

2 教養娯楽

利用者個々の趣味を取り入れることにより、自主性の確立及び個性を大切にし、利用者全員に満足して頂けるよう努めました。

3 保健衛生

利用者を使用する用品類は安全清潔を保持できるよう配慮するとともに、感染予防の為利用者及び職員の手洗いの励行に努めました。

4 家族との交流

本年度は、金沢で行われたサーカス公演から招待があり、家族とともに参加する機会として、ご希望されたみなさまと共に観覧に出掛け、長時間一緒に過ごす中で、日々の苦労や相談等を聞き出す良い機会となりました。

その他、利用者の施設での活動状況や家族からの伝言等は主に連絡帳を利用し、電話による相談・訪問による相談にも適切に対応致しました。

5 職員の資質向上

毎朝夕ミーティングを行ない、予定の確認や反省点・問題点の提起や解決を図ると共に、今年度も計画的な職場内研修及び外部研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めてきました。

6 利用率維持・向上への取り組み

安定した利用実績を得るため、今年度より市内の居宅介護支援事業者へ事業所の近況報告と、曜日毎の空き情報、送迎方向情報等を書面で作成し、広報活動を実施しました。

平成 27 年度 通所介護内部研修実績

日付	研修名	講師	参加者数
H27. 4. 1	介護保険法改正と介護報酬改定	白山 千亜希	25 名
H27. 4. 30	情報の共有について	白山 千亜希	7 名
H27. 5. 13	サービスの質の向上と確保	白山 千亜希	16 名
H27. 5. 31	安全運転&福祉車両操作講習会講習会【緊急時の対応と対策について】	日本福祉車両協会	23 名
H27. 7. 21 H27. 7. 22	長崎のグループホーム火災について(DVD 学習会)	高宮 由美子	24 名
H27. 9. 12	誤嚥事故の発生予防について	嶽 奈美子	10 名
H27. 10. 13 H27. 10. 14	職員倫理とプライバシー保護について	白山 千亜希	12 名
H27. 10. 16	送迎事故発生予防の研修	小山 奈保子	7 名
H27. 10. 29	事故の発生予防・再発の防止について	小山 奈保子	5 名
H27. 10. 22 H27. 11. 2	感染症の予防および蔓延を防ぐために《MRSA》	白山 千亜希	8 名
H27. 11. 11	基本的人権とプライバシー保護・職業倫理について	大橋 しのぶ	8 名
H26. 11. 13	感染症・食中毒予防およびまん延の防止について	政島 愛子	17 名
H28. 2. 11	嚥下事故防止と事故が起こったときの対応	嶽 奈美子	8 名
H27. 2. 23	身体にかかる圧の影響と対策	(株)モルテン	16 名
H28. 3. 8	えんやまグループ職員セミナー	円山寛人理事長	18 名

平成 27 年度ボランティア受入活動実績報告

活動日	ボランティア名(団体・個人)	活動場所	活動内容	備考
4, 2～ 毎月第 1. 3(木) 10 : 30～11 : 30	土田 由紀子様	せんじゅ なでしこ	ご利用者様とのコミュニケーション 紙芝居・歌・ハーモニカの披露 折り紙細工・色紙作り	1 人
5, 11(月)～12(火) 9 : 30～16 : 30	オークス株式会社職員様	せんじゅ なでしこ	ご利用者様とのコミュニケーション 身の回りのお手伝い	5 人
5, 29(金) 13 : 00～15 : 00	木下大サーカス様	金沢市西部 緑地公園内 特設会場	サーカス公演招待	
5, 30(土) 14 : 00～15 : 00	藤サークル様	地域交流ホ ール	歌謡舞踊の披露	5 人
6, 10(水) 14 : 00～15 : 00	幼保連携型認定こども園 ひまわり園児様	せんじゅ	ご利用者様とのコミュニケーション 歌・体操・踊りの披露	19 人
6, 15(月) 14 : 00～15 : 00	あさひ保育園児様	なでしこ	ご利用者様とのコミュニケーション 歌・体操・踊りの披露	15 人
8, 1(土)～27(木) 8 : 30～16 : 30	サマーボランティア体験 石川県立志賀高等学校様	せんじゅ なでしこ	ご利用者様とのコミュニケーション 身の回りのお手伝い	11 人
9, 19(土) 14 : 00～15 : 00	キラキラキッズ様	せんじゅ	ご利用者様とのコミュニケーション ダンスの披露	25 人
9, 17(木) 13 : 30～15 : 30	七尾鹿島鍼灸 マッサージ師会様	せんじゅ	ご利用者様へのマッサージ	2 人
9, 21(月) 13 : 30～15 : 30	七尾鹿島鍼灸 マッサージ師会様	なでしこ	ご利用者様へのマッサージ	3 人
9, 25(金) 14 : 00～15 : 00	あさひ保育園児様	なでしこ	ご利用者様とのおやつ作り・コミュ ニケーション・歌・体操・踊りの披露	14 人
10, 5(月) 13 : 30～15 : 30	伊藤 總子様	せんじゅ	手品・紙芝居の披露 手遊び	1 人
11, 30 (月) 14 : 00～15 : 00	グループデイ よるまい会若林様	せんじゅ	マジック・踊り・カラオケの披露	8 人
2, 1(月) 14 : 00～15 : 00	にこにこ一座様	地域交流ホ ール	歌謡舞踊の披露	14 人
2, 18(木) 14 : 00～15 : 00	グループデイ 国分くつろぎ様	せんじゅ	マジック・踊り・カラオケの披露	15 人
2, 24(水) 14 : 00～15 : 00	石川県立 七尾特別支援学校生様	地域交流ホ ール	ダンス・マジックの披露	19 人
3, 26 (土) 13 : 00～16 : 00	金時 麻衣様	せんじゅ	ご利用者様とのコミュニケーション 身の回りのお手伝い	1 人

平成 27 年度目標に対する自己評価

部署 せんじゅ・なでしこ

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<p>個別支援・援助の強化</p> <p>趣味、特技などご利用者様個人の特徴を理解し、自分らしく過ごせるように支援する</p> <p>固定観念にとらわれずに、ご利用者様に喜ばれる、独自のサービスを提供する</p>	<p>4～6月 認知症加算の算定開始に伴い、全職員に認知症進行予防の脳活性化プログラムについて見聞を広めてもらうため、今後自分で実際に行えるレクリエーション・アクティビティを、根拠・効果を示す文献と一緒に提出してもらい、マニュアル化した。</p> <p>7～9月 一部ご利用者様のニーズ(興味・関心)を調査し、機能訓練メニューの見直しを行った。</p> <p>10～3月 慢性的な職員不足のため、計画的な個別支援の展開には行き届かず。</p>	D	<p>4～6月に全職員が文献検索を行ったことで、自主性を持って脳活性化プログラムを積極的に取り入れるようになり、ご利用者様も嬉しそうな表情をしてくれるようになったが、10月以降は慢性的な職員不足のため、「個別ケア」から「集団ケア」へと逆行しつつある。</p>	<p>知識や技術、経験のある人材の離職を防ぐ。</p> <p>有能な人材を確保する。</p> <p>ご利用者様のニーズ(興味・関心)の調査。</p> <p>ご利用者様の生活の改善に直接反映する活動プログラムを実施する。</p>
<p>チーム力の向上</p> <p>部署目標の達成に向け、「何をすべきか」「何ができるのか」を常に考え、行動する</p> <p>他職種協働でご利用者様の生活全般的な支援を行う</p>	<p>全職員が平成 27 年度えんやまグループ事業推進テーマとデイサービスの事業計画に沿った個人目標・実行計画を作成⇒実行⇒3 カ月ごとに評価・計画の見直しを行った。</p>	D	<p>書式化したことで各職員と部署長が目標に対しての共通理解をもつことができたが、慢性的な人員不足のため具体的方策の実行には繋がらなかった。</p>	<p>知識や技術、経験のある人材の離職を防ぐ。</p> <p>有能な人材を確保する。</p>

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

平成 27 年度目標に対する自己評価

部署 せんじゅ・なでしこ

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<p>地域と協働する</p> <p>医療機関や他の介護事業所との連携を強化する</p> <p>地域行事への参加を通じて、地域との連携を密にする</p> <p>地域住民、地元保育園との交流会の開催</p> <p>ホームページや広報誌を通じて、施設情報を積極的に公開していく</p>	<p>七尾市介護保険事業者連絡会、通所サービス事業所分科会へ「要介護認定に係る資料の写しの交付申請について」検討依頼を行った。</p> <p>6/13(土) 徳田公民館主催の彼岸花奉仕作業、せんじゅ・なでしこから各 1 名職員参加。</p> <p>6/10(水)ひまわり認定こども園との交流会開催。園児 17 名、引率 2 名、利用者 29 名参加。</p> <p>6/15(月)あさひ保育園児との交流会開催。園児 13 名、引率 2 名、利用者 23 名参加。</p> <p>5/29(金)「木下大サーカス金沢公演」観覧ツアー(9:00~18:00)、利用者 6 名、家族 7 名、職員 5 名参加。</p> <p>8/2(日)千野町夏祭りに参加しカレーライスの盛り付けを行った。せんじゅ・なでしこから各 1 名職員参加。</p> <p>9/2(水)千寿苑主催の一本松地下道周辺の奉仕作業、せんじゅ・なでしこから各 1 名職員参加。</p>	B	<p>七尾市介護保険事業者連絡会、通所サービス事業所分科会での活動を通して、他の介護事業所との連携強化を図ることができた。</p> <p>徳田公民館主催の活動では、地域の方々や徳田小学校の子供たちと触れ合いながら活動ができ、地域の方々からたくさん感謝の言葉を頂戴し、地域貢献を実感できた。地域の協力あつての施設であることを忘れずに貢献していきたい。</p> <p>ご利用者様・ご家族様との日帰り旅行では、車内で介護技術講座を行い、歌に合わせた手の運動や指折り運動など、説明しながらみんなで楽しみながら行うことができた。また、ご家族との意見交換ができ、知らなかった情報を聞くことができた。</p> <p>千野町夏祭りは初参加だったが、たくさん感謝の言葉を頂戴し、地域の方々と交流を図りながら活動することができた。</p>	<p>平成 28 年 4 月の社会福祉法人改革に伴い、地域における公益的な取組と社会貢献活動の更なる強化が必要。</p>

※評価について ⇒自己採点方式 (100 点満点で評価 : A100 点~90 点、B89 点~75 点、C74 点~60 点、D60 点以下)

平成 27 年度目標に対する自己評価

部署 せんじゅ・なでしこ

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
	<p>10/15(月)あさひ保育園児とのおはぎ作り交流会、園児 13 名、引率 2 名、なでしこ利用者 23 名参加。保育園児と間近に接し、日常会話を交わしながら自然な触れあいを図ることができた。</p> <p>11/30(月)よるまい会若林との交流会開催。初めての交流会だったが、ご利用者様とお知り合いの方が多く、双方に大変喜んで頂く事ができた。</p> <p>3/8(金)白馬町健老会との交流会を予定していたが、先方の都合(体調不良者多い)のため中止となった。</p>	<p>B</p>	<p>10月に認定こども園ひまわりとの交流会を計画していたが、先方の都合により今年度中の開催は見送りとなった。代わってグループデイ「よるまい会若林」と初めて交流会を開催した。</p>	<p>高齢者グループデイ(平成 15 年度～)、介護予防グループデイ(平成 18 年度～)も高齢化が進んでおり、継続した活動ができないグループがでてきている。</p> <p>この現状を踏まえ、こちらから地域へ出向いて高齢者グループをサポートしていきたい。</p>

※評価について ⇒自己採点方式 (100 点満点で評価：A100 点～90 点、B89 点～75 点、C74 点～60 点、D60 点以下)

Ⅳ やくしの里（グループホーム）

認知症により、他者からの援助なく日常の生活を送ることが困難な要介護者に対し、家庭的な環境のもと、食事、入浴、排泄等の日常生活の世話及び様々な場면을訓練として提供することにより、安心と尊厳のある生活を、要介護者がその有する能力に応じて可能な限り自立して営むことができるよう支援することを目的としてこれまでの取り組みを継続してまいりました。

1 入居者の高齢化・重度化への取り組み

開設以降9年を経過し、入居されている方々も長期化に伴って、高齢化・重度化の問題が顕著化してきております。

そのような中、本年度は状態に著しい変化が見られた入居者は少なく、日々安定した生活を送ることができました。日頃からの健康管理や状態確認、必要時の主治医への上申等介護への取り組みの成果であると感が増す。

しかし、このことに安心せず、法人内のみならずグループ全体で対応することで切れ目なくその方にあったサービスの提供をこれからも引き続き実施していきます。

2 生活支援の充実

利用者ひとり一人がそれぞれの家庭での生活環境以上にその有する能力に応じ可能な限り営むことができるよう、アセスメント（課題分析）を確実にを行い、適切なケアプランを作成しております。

しかしながら、前述のとおり重度化によって、これまでのような積極的な外出支援は実施することが困難となってきており、個別に対応することを行いました。

今後も、利用者の持つ知識や能力に着目し、より適切な援助を提供してまいります。

2 地域交流

地域密着型施設として、地元公民館や小学校、地域の行事に積極的に参加し、地域住民との交流が密接に図られるようにしてまいりました。

3 地域に開かれた施設

定期的に運営推進会議を開催し、参加者である地元町会長、民生児童委員や行政担当者、ご家族とともに、日常の状況や課題など運営全般について討議しております。討議していただいた内容をもとに、入居者処遇や地域活動に活かしております。

平成 27 年度年間行事等事業実施報告

やくしの里

月	事業(行事)計画	地域交流	ボランティア・見学
4 月	12日(日)花見：中能登桜まつり 職員3名 入居者8名 18日(土)運営推進会議		26日(日)春の北国特選会 サンライフプラザ 職員2名 入居者3名
5 月	4日(月)青柏祭り見物 ※雨天のためアルプラザへ変更 職員4名 入居者6名	24日(日)有磯小学校 運動会見学	
6 月	5日(金)・6日(土)菖蒲湯 27日(土)運営推進会議		20日(土)徳田の民話 来所4名
7 月	8日(水)コモド交流会 職員5名 入居者9名 30日(木)千寿苑夏祭り 職員5名 入居者8名		
8 月	20日(木)流しそうめん・花火 22日(土)運営推進会議	15日(土)大泊町納涼祭 入居者3名 職員2名	10・11 日本丸見学 2日に分け全員参加
9 月	16日(水)家族旅行 中止 20日(日)お彼岸・おはぎづくり	27日(日)南大呑地区敬老会	
10 月	11日(日)徳田祭り 職員1名 入居者2名 17日(土)運営推進会議	12日(月)コモドフェスタ 職員1名 入居者2名	10日(土) 大正琴6名
11 月	11日(水)外食会		5日(木) 大正琴7名
12 月	13日(日)クリスマス会 家族5名 職員7名 入居9名 19日(土)運営推進会議 21日(月)・22日(火)柚子湯		
1 月	正月(おせち料理) 書初め 七草粥		
2 月	3日(水)節分・恵方巻き、豆まき 20日(土)運営推進会議 26日(木)ひな人形展(パトリア) 入居9名 職員5名		
3 月	3日(木)ひな祭り昼食会 16日(水)お彼岸・おはぎ		

平成 27 年度目標に対する自己評価

部署 グループホームやくしの里

計画と方法・取組	取組	評価	経過・対応策・その他報告
利用者様と接する時間を多く持ち、生活の中で出来る事や、やりたいことを引き出すよう支援する	・ 年間行事について	B	・ 年間の行事は予定通りに行うことが出来た。上半期は職員の人員が充足していたので、簡単な外出や散歩等を手軽に行えたが、下半期は職員の病欠による人員不足のため家族との交流会を中止することとなった。また、入居者の重度化により、付き添いする際も人員の確保が課題となった
	・ バラエティーに富んだ食メニューで食べる楽しみを持っていただく	C	・ 季節に応じた旬のものの提供（野菜・果物）や行事食の提供を行うことが出来た。その一方で、適切な食事量の提供が出来ず、体重の増加がみられた。また、食材の管理が出来ておらず、破棄することがみられ、コストについて説明を行うも取り組もうとしない職員がみられた
	・ 1日1回は口腔・全身を使う体操をして、日常生活動作の中でも本人が出来る事は時間がかかっても見守り、自分でしていただく	B	・ 1日1回の体操は毎日実施できたが、入居者によって散歩を億劫がったり、衣類の着脱でも職員に依存する方がいた。歩行練習も足の運びが悪く目標とする距離を歩くことが出来なかった。冬季は外出を制限したため、来期は冬季の室内で出来る運動対策が必要。
	・ 利用者様と職員が個々の出来ることを分担し協力する（料理・洗濯物たたみ・畑仕事など）	B	・ 料理での皮むき、切る作業、洗い物の茶碗拭き、食器の片付けが5名。洗濯物たたみが8名と食事前後の挨拶を1名の方に取り組んでいただいた。個々のレベルを見極め継続して自分の役割を持って頂く
	・ 個々の楽しみ（生け花・畑仕事）等の支援	B	・ 毎月1回、玄関に飾る生け花をいけていただいたり ・ 畑仕事は、体調に配慮して短めの時間で作業していただいた。歩行や体調の面での不安を訴える方が多く、屋外での活動が出来ない方がいた。担当職員による個別の取り組みを来期は計画し、個々に応じた取り組みで生活の中に楽しみを持って頂く

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

V たかしなの里（小規模多機能型居宅介護施設）

小規模多機能型居宅介護は、介護や援助が必要となった高齢者が、住み慣れた家・地域での生活を継続することができるように、利用者の状態や必要に応じて、「通い」を中心に「泊まり」「訪問」の3サービスを組み合わせて提供する理想的なケアを実現した在宅介護サービスと言われています。また、厚生労働省が今後展開していく「地域包括ケア」の中でも重要なサービスとして位置付けられています

開設から3年目となり、地域の方々に支えられながら利用登録者も堅調に推移し、これに合わせて職員の増員も行ってきました。

1 生活支援の充実

利用者ひとり一人がそれぞれの家庭での生活環境においてその有する能力に応じ可能な限り営むことができるよう、また、施設として別の場所ではなく自宅の居間の延長線上と位置付け、個々の要望を取り入れながら援助してきました。

これに加え、訪問サービスや泊りサービスを有効に組み合わせ、安心・安全な在宅生活の実現に向けて援助しております。

今後も、利用者の持つ知識や能力に着目し、より適切な援助を提供してまいります。

2 地域交流

地域密着型施設として、地元公民館や保育園、小学校、地域の行事に積極的に参加し、地域住民との交流が密接に図られるようにしてまいりました。

4 地域に開かれた施設

2か月に1回の頻度で運営推進会議を開催し、地元町会長、公民館長、民生児童委員や行政担当者、ご家族に参加していただき、事業所内の日常の状況や課題など運営全般について討議していただきました。今年度は地元池崎町自衛消防団の方も参加していただき、地域ぐるみでの防災について討議していただくことができました。今後も、入居者処遇や地域活動に活かした会になるよう創意工夫していきます。また、たかしなの里たよりを2回発行し、地域へ情報発信も行いました。

平成 27 年度年間行事等事業実施報告

たかしなの里

月	事業（行事）	地域交流・ボランティア	見学対応・職員研修
4月	9日, 10日 お花見 25日 避難訓練	5日 池崎町春祭り 23日, 24日 菜の花施設見学	
5月	4日 青柏祭見学 9日 落取り 29日 お誕生会 30日 運営推進会議	23日 高階小学校運動会見学 27日 くない太鼓慰問 31日 高階地区 レクレーション大会見学	27日 介護職の接遇マナー研修
6月	4日, 5日 菖蒲湯	14日 高階地区敬老会参加 21日 高階小学校資源回収参加	29日 認知症利用者の対応について(内部勉強会)
7月	6日 七夕 13日 運営推進会議 26日 能登島方面ドライブ	23日 第一老和会慰問 25日 なっ葉の会慰問 たかしなの里たより発行	6日 食中毒の知識と予防 (内部勉強会)
8月	26日 お誕生会	18日 天井啓子歌謡舞踊慰問	22日 高階小学校3・4年生見学
9月	14日 運営推進会議 15日 能登島方面ドライブ 19日 お誕生会 21日 おはぎ作り	26日 高階保育園運動会見学	
10月	20日 避難訓練 22日 お誕生会 25日 鰻目おつけ祭り見学	7日 池崎町秋祭り	22日 施設における 感染症予防対策研修
11月	1日 城山ドライブ 13日 中能登町ドライブ 16日 運営推進会議	2日 千寿苑ふれあいコンサート	28日 施設における感染症 予防対策(内部勉強会)
12月	16日 岩城典子百歳祝い 22日 ゆず湯 24日 クリスマス会・ 餅つき・お誕生会	12日 なっ葉の会慰問	インフルエンザ施設感染 予防について(内部勉強会)
1月	1日～3日 おせち料理 18日 運営推進会議 19日 お誕生会	たかしなの里たより発行	
2月	3日 節分 19日 お誕生会	3日 第一老和会 スカットボール交流会	
3月	5日 ひな人形展見学 13日 大泊方面ドライブ 14日 運営推進会議 18日 お誕生会 21日 おはぎ作り 30日 大泊方面ドライブ		

平成 27 年度目標に対する自己評価

部署 小規模多機能型居宅介護施設たかしの里

計画と方法・取組	具体的な取り組み	評価	振り返り	次期への繰越や課題など
<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族様のニーズを情報収集しサービスに結び在宅生活が継続できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族様の困っていることを具体的に把握しサービス提供に結び、在宅生活が継続できる。 困っていることや問題が解決できるようにサービスを提供し在宅生活が継続できるようにする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 契約時には施設内の見学をして頂き、利用者、家族の困っていることを詳細に把握し今後の要望を聞きサービス提供に繋げることができた。 利用者の体調の変化や経過については情報収集し主治医や家族に報告する。又、職員全員で情報を共有し在宅生活を支援することができた。 意見箱を設置してあるが利用されていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅でより良い生活が継続するには利用者を理解することが重要である。利用者一人ひとりの要望を理解し満足して頂けるように援助をする。 意見箱が利用されていないので満足度調査を実施する。又、利用時や家族交流会等利用して要望を聞く。
<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に参加する。又、地域の方々が施設に来ていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に参加する。 地域の方々に施設に来て頂き交流する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 地区敬老会に参加したり小学校の運動会や表現会見学、保育園の運動会に見学に行った。 学校帰りの児童が施設に立ち寄り、利用者とジャンケン、肩たたき等して交流できた。 各種慰問があった時はチラシを配布し近所の人や町民生委員に来て頂き交流できた。 第一老和会と年2回スカットボールの交流会を施設で行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 町自衛消防隊と協定を結ぶ。 地域行事に協力しボランティア活動を計画する。 継続して広報活動をおこない地域との連携や地区の方々との繋がりを深めていく。

※評価について ⇒自己採点方式 (100点満点で評価：A100点～90点、B89点～75点、C74点～60点、D60点以下)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 緑会	代表者	圓山 寛人	法人・事業所の 特徴	法人の理念「仁愛・信頼・貢献」を基に、利用者個々の「思い」や生活ペース、家族、地域との繋がりを大切にした支援に取り組んでいる。複数の看護職員の配置に加え、母体（医療法人や社会福祉法人）の充実したバックアップ体制があり、利用者・家族の安心に繋がっている。
事業所名	たかしなの里	管理者	守山 みね子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括センター	近隣事務所	事業所職員	その他	合計
		1人		3人		3人			3人	

	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果	意見	今回の改善計画
事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 利用者本人・家族のニーズを出来るだけ詳細に把握し職員全員が統一した支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡ノートで家族との情報提供を密にし、それを職員全員で共有した支援ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員が個々の自己評価を行い、それに基づいて事業所における取組み等を全員での話し合いがなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 恒常的に自己評価を行いサービスの向上に努める。
事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 居心地のよい空間作り 生活感や季節感を取り入れ施設内外を清潔にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の採光や換気の配慮、共有の空間には利用者の展示コーナーを設置している。 プランターや花壇で四季の花を育てている。また敷地内の畑で野菜を栽培している。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の玄関は鍵が掛かっているが、時と場合によっては施錠は仕方がないのでは 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者一人ひとりの気持ちを尊重し安全で快適に過ごしていただけるよう、また一日でも元気で生活していただけるよう支援する。
事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に参加する。 施設への来所者を歓迎する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方が慰問にきてくれた際民生委員やたくさんの地域の方に来所して貰えた。 職員による地域でのボランティアがあまりなされなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の祭りやイベントに積極的に協力すればどうか 近くの高齢者の方が具合悪くなった時に駆けつけてくれて助かったことがあった。これからも支援できるようお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事への協力やボランティアを計画し地域貢献に努める。 継続した広報活動を行い地域との連携や地区町民との繋がりをさらに深めていく。 近隣の高齢者の見守りや支援の体制作りをする。

	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み結果	意見	今回の改善計画
地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事に参加し交流を図る 理・美容院も馴染みの人に依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントや保育園、小学校の行事に参加、また学校帰りの子供が施設に立ち寄り利用者と交流があったり地域老人会との交流会もすることができた。 四季に合わせた近辺へのドライブで気分転換やそれによる思い出話があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区の行事の参加やイベントに継続して取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して気軽に親族の面会や地域の方が立ち寄って貰える施設づくりをする。
運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 運営会議での意見提案を実践し施設でのサービス向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の広報誌に掲載させて貰えた。また地域向けの広報誌を配布することができた。 利用者家族や地域住民との交流ができた。 困難事例の対応について意見を聞くことができ参考になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者(登録)家族との交流会があればいい。苦労話や悩みは他の人には言えないが、同じ境遇同士なら話し合える。 意見箱が設置してあるが利用がない。定期的な家族アンケート(無記名)を実施し、家族の悩みを引きだせるようにしてほしい。 一人暮らしの方など体調が悪くなったときにすぐ駆けつけられるような体制づくりを作ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して施設や地域での取り組みを詳細に報告し、意見やアドバイスを求める。 定期的に家族アンケートを実施する。 地域の高齢者の方が安心して生活できる取り組みを行う。
事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> スプリンクラーの設置と火災報知器、通報装置は消防署直結する。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害危機管理マニュアルを基に、地域自衛消防団も参加して貰い年2回の火災を想定した避難訓練(内1回は夜間想定)を実施した。 災害時に最小限の被害となるようスプリンクラーの設置や火災報知器、通報装置は消防署直結とした。 約25人、3日分程度の備蓄品(水・缶詰・乾物等)を保管している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と防災の協定書を結べばどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> 地区町会と防災協定書を締結する。 町自衛消防隊と合同訓練を実施する。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	7	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場合では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	7	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	7	0	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	7	0	0

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・スタッフ全員が自己評価を行い自らの業務を振り返り、施設での評価をすることができている。

【前回の改善計画に対する意見】

※前回の改善計画に対する取組み結果に対する意見

- ・利用者が今まで以上に満足していただけるよう、工夫や職員間の連携が出来ている。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・更に地域とのかかわりを大切にし、利用者が地域に安心して生活できるようサービスを柔軟に取り入れ、支援できるようになっている。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・職員全員が個々の自己評価を行い、それに基づいて事業所における取組み等を全員での話し合いがなされている。

【改善計画】※後日記入

- ・恒常的に自己評価を行いサービスの向上に努める。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	6	0	1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7	0	0
2	事業所は居心地がいい空間になっていますか？	7	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・施設には入りやすい雰囲気があり、特に不快な事や嫌な臭いなどは感じられない。

【前回の改善計画】

- ・居心地のよい空間作り
生活感や季節感を取り入れ施設内外を清潔にする。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・施設の玄関は鍵が掛かっていないが、時と場合によって施錠は仕方がないのでは
- ・不審者が来る場合もあるので施錠したほうが良い。

【改善計画】※後日記入

- ・利用者一人ひとりの気持ちを尊重し安全で快適に過ごしていただけるよう、また一日でも元気で生活していただけるよう支援する。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	6	0	1
1	職員はあいさつできていますか？	7	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	7	0	0
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	6	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	7	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・高階地区では比較的施設は知られているが、徳田や田鶴浜地区ではあまり知られていないような気がするのでもっと地域全体に浸透できるよう広報をしっかりとしてほしい。

【前回の改善計画】

- ・職員は積極的に地域の行事に参加したり相談に対応する。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域の祭りやイベントに積極的に協力すればどうか。
- ・地域の避難場所になっている。
- ・近くの高齢者の方が具合悪くなった時に駆けつけてくれて助かったことがあった。これからも支援できるようお願いしたい。

【改善計画】※後日記入

- ・地域行事への協力やボランティアを計画し地域貢献に努める。
- ・継続した広報活動を行い、地域との連携や地区町民との繋がりをさらに深めていく。
- ・近隣の高齢者の見守りや支援の体制作りをする。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	6	0	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	7	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	7	0	0
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	7	0	0
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	6	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 近くの高齢者の方が具合悪くなった時に駆けつけてくれて助かったことがあった。これからも支援できるようお願いしたい。

【前回の改善計画】

- ・ 馴染みの人間関係を継続出来るよう施設への来所者や面会を歓迎する。
- ・ 理・美容院も地域の人に依頼する。
- ・ 地域の行事に参加して、地域での生活を楽しんで過ごしていただく。

【「地域に向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・ 公民館を始め小学校や保育園への行事に利用者が参加をして一緒になって楽しんだり、またドライブに出かけ四季折々の近隣の風景を楽しんだりしている。

【改善計画】※後日記入

- ・ 継続して気軽に親族の面会や地域の方が立ち寄って貰える施設づくりをする。
- ・ 地域の人たちと継続して交流できるよう、今まで以上に地域の行事に参加する。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	6	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解りやすく説明されていますか？	7	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	7	0	0
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・施設での事例検討だけでなく、今後は地域の心配の方の事例検討もすればどうか

【前回の改善計画】

- ・運営会議での意見提案を実践し施設でのサービス向上を図る。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・利用者（登録）家族との交流会があればいい。苦労話や悩みは他の人には言えないが、同じ境遇同士なら話し合える。
- ・意見箱が設置してあるが利用がない。定期的な家族アンケート（無記名）を実施し家族の悩みを引きだせるようにしてほしい。

【改善計画】※後日記入

- ・継続して施設や地域での取組みを詳細に報告し、意見やアドバイスを求める。
- ・定期的に家族アンケートを実施する。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	5	0	2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	7	0	0
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	7	0	0
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	6	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	7	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・いざという時に施設は頼りになる。地域との連携を深めて万が一に備えられるようにしていただきたい。

【前回の改善計画】

- ・スプリンクラーの設置と火災報知器、通報装置は消防署直結とする。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・地域と防災の協定書を結ばばどうか。

【改善計画】※後日記入

- ・地域との連携強化をする
- ・地区町会と防災協定書を締結する。